

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 1 7 番地
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6 - 5 - 1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		令和 5 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開館等日 (日)	228	265	238	267	274
延べ利用者数 必須事業 (人)	1, 538	2, 096	1, 852	2, 063	2, 180
前年度比 (人)	△78	558	△244	211	117
前年度比 (%)	95. 2	136. 3	88. 4	111. 4	105. 7
延べ利用者数 自主事業 (人)	3, 163	5, 193	4, 485	4, 797	5, 161
前年度比 (人)	1, 037	2, 030	△708	312	364
前年度比 (%)	148. 8	164. 2	86. 4	107. 0	107. 6
利用料金 合計 必須事業 (千円)	1, 307	1, 782	1, 574	1, 754	1, 853
前年度比 (千円)	△67	475	△208	180	99
前年度比 (%)	95. 1	136. 3	88. 3	111. 4	105. 6
利用料金 合計 自主事業 (千円)	3, 386	4, 030	3, 430	3, 693	4, 170
前年度比 (千円)	699	644	△600	263	477
前年度比 (%)	126. 0	119. 0	85. 1	107. 7	112. 9

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入	指定管理料	13,735	13,882	15,498	15,498	15,498
	利用料金収入	1,307	1,782	1,574	1,754	1,853
	自主事業収入	3,386	4,030	3,430	3,693	4,170
	その他の収入	0	0	0	0	0
	収入計	18,429	19,694	20,502	20,944	21,521
支 出	人件費	10,072	11,764	12,069	12,933	14,041
	維持管理経費	5,079	5,814	5,035	6,089	5,999
	自主事業関係経費	1,557	1,498	1,611	1,715	1,814
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,709	19,076	18,715	20,736	21,854
収支（収入－支出）		1,720	617	1,786	208	△332

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
6月と1月に施設利用者に対してアンケート用紙を配布してアンケートを行いました。記入後のアンケート用紙は回収箱に投函してもらうことで回収しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
利用者アンケートでは、「センターに来ると元気になれる」「職員が話しやすく安心できる」「体操や交流活動を楽しみにしている」などの意見が多く寄せられました。 また、新しい講座への要望や活動時間に関する意見もあり、今後の事業運営の参考とする予定です。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
利用者同士の交流や生きがい支援を目的として、認知症予防体操、異世代交流麻雀、季節行事、レクリエーションを実施し、1人でも参加しやすい雰囲気づくりに努め、職員から積極的な声掛けを行うことで、新規利用や継続利用につながるよう取り組みました。さらに日常的な聞き取りを通じて要望の把握を行い、活動や講座の見直し、サービス向上に活用しました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
施設内の節電、節水を職員間で徹底し不要な照明や空調の使用を見直すことで、光熱費の削減に努めました。また、消耗品については在庫管理を行い、必要数量を確認しながら、計画的な購入を実施しました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
利用者数については、各種体操事業やレクリエーション活動、異世代交流事業等を継続的に実施したことにより、継続利用につながりました。1人でも参加しやすい環境づくりや積極的な声掛けを行ったことで、新規利用者の参加促進にも努めました。収支状況については、光熱費や消耗品費の見直し、節電・節水等の経費削減に取り組み、効率的な施設運営を行うことで、限られた予算の中でもサービスの維持・向上に努めることができました。利用者アンケートでは「センターに来ると元気になれる」「交流の場として楽しみにしている」などの意見が寄せられ、事業実施による一定の効果が確認できました。一方で、新しい活動への要望や活動内容に関する意見もあり、今後の課題として受け止めています。今後も利用者のニーズの把握に努め、地域やボランティアとの連携を図りながら、安心して利用できる施設運営とサービス向上に取り組んでいきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
アンケート結果では利用者の肯定的な声が確認でき、サービスが利用者の生活の質の向上に寄与していると見受けられます。多様なプログラムや、職員によるきめ細かな声掛けにより、参加しやすい環境が整い、新規利用者や継続利用者に良い影響を与えていることが分かります。新講座や活動時間に関する具体的な要望が上がっており、今後の改善活動に生かしてください。
経費削減の取組
不要な照明・空調の見直し、節水のほか、消耗品等の在庫の管理と計画的購入により過剰発注や不足を防ぎ、無駄を抑制する仕組みが導入されていることは評価できます。今後もセンター運営に支障のない範囲内で、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
体操やレクリエーション、異世代交流など、継続的なプログラム運営により利用者の定着につながった点は評価できます。利用者の満足度や参加促進といった実務面での成果が見られていますので、今後は定量的に把握をし、利用者ニーズに基づく試行と評価のサイクルを明確にしつつ、業務改善への取組をお願いします。

総合評価

A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。